

意見書 (医師記入)

白石中央保育園 施設長殿

_____ ぐみ 児童名 _____ (_____ 年 月 日生)

感染症にかかった日→ _____ 月 _____ 日

(病名) (該当疾患にをお願いします)

	麻しん (はしか) ☆
	インフルエンザ (_____ 型) ☆
	風しん
	水痘 (水ぼうそう)
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
	結核
	咽頭結膜熱 (プール熱) ☆
	流行性角結膜炎 (アデノウイルスによる結膜炎・はやり目)
	百日咳
	腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)
	急性出血性結膜炎
	侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)

☆印は必ずしも治癒の確認は必要ありません。症状の改善が認められた段階で記入することができます。

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

_____ 年 _____ 月 _____ 日から登園可能と判断します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関名 _____

医師名 _____

※保護者のみなさまへ

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団内での発症や流行をできるだけ防ぐことで子どもたちが一日快適に生活できるよう、上記の感染症について意見書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能なお状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

感染症名	潜伏期	感染しやすい時期	当園のめやす
麻しん(はしか)	9～12日	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	1～3日	症状が有る期間(発症後24時間から3日程度までが最も感染力が強い)	発症後最低5日間かつ解熱した後3日を経過してから
風しん(三日はしか)	2～3週	発しん出現の前7日から後7日間位	発しんが消失するまで
水痘(水ぼうそう)	2～3週	発しん出現1～2日前からかさぶた形成まで	発しんがかさぶたになった後(但し、手のひら・足のうらは除く)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2～3週	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好であること
咽頭結膜熱(プール熱)(アデノウイルス)	5～7日	発熱、充血等症状が出現した数日間	主要症状が消失した後、2日を経過してから
流行性角結膜炎(アデノウイルス)	4～7日	充血、目やに等症状が出現した数日間	結膜炎症状が消失してから
百日咳	1～2週	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失してから、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから
腸管出血性大腸菌感染症	3～8日		医師により伝染のおそれがないと認められた後
結核 急性出血性結膜炎 侵襲性髄膜炎菌感染症			医師により伝染のおそれがないと認められた後